

## 令和8年度 岩手県立雫石高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和8年4月28日(火)  
授業参観 9時10分～9時55分  
協議会 10時05分～10時55分
- 2 場所 雫石高校会議室
- 3 出席者 委員9名(2名欠席)
- |        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 上野 幸彦  | 雫石高校を支援する会 会長               |
| 大久保 誠  | 雫石商工会青年部                    |
| 大橋 良二  | (株)しずくいし 代表取締役              |
| 櫻田 七海  | NPO法人まちサポ雫石 理事長             |
| 酒井 文徳  | 雫石町総合政策課係長                  |
| 佐藤 光   | 雫石町立雫石中学校 校長                |
| 藤本 達也  | 永昌寺住職 雫石保育園理事長 雫石町社会福祉協議会会長 |
| 吉田 孟   | 雫石高等学校 PTA 会長               |
| 菊池 由美子 | 雫石高等学校 校長                   |
- (このほか、事務局4名、オブザーバー1名が出席)

### 4 次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 役員選出
  - ・会長を大橋委員に、副会長を吉田孟委員にお願いすることについて了承を得た。
- (4) 委員自己紹介
- (5) 議事

#### ア 学校概況説明

- ・副校長より学校の概況説明を行った。

#### イ 協議

令和8年度学校経営計画について・・・委員より承認された。

#### 【説明】

- ・「1 校訓」から「4 目指す学校像」について、昨年度からの大きな変更点はないが、今年度から「5 業務量管理・健康確保措置」が追加になり、教員の働き方について業務を明確化しきちんと管理することが盛り込まれた。本校では、課外活動に従事する職員に一部業務の偏りが見られるので、適切な役割分担を進められるよう、関係各団体と連携・協議していく。

#### 【意見】

- ・部活動指導における教員の負担はどのようになっているか。
- 一部、部活動顧問に業務量の偏りがあるが、顧問を複数配置することで負担を減らすよう配慮している。

(6) 意見交換、委員からの提言

- ・出身中学校を見ると遠いところから通学している生徒もいるようだが、通学は大丈夫か。  
→ 電車等で通うなど、通学には問題ない。
- ・毎年の軽トラ市での活動には感謝している。活動を見ていて、コミュニケーション能力の高い生徒が多いと感じている。高校には戦力として活躍してもらっていて、商工会としてもありがたい。一方で、先生方には、もう少し地域に対してサポートをしてほしいと遠慮なく言っていた方がいいと思っている。先生方は多忙なので、地域にもっと頼ってもらっていい。
- ・今年の卒業生の進路状況を見ると、多くの生徒が県内に残っている。改めて雫石高校が地域にとって大事な存在だと考えられる。私立高校の授業の無償化の影響も大きくなるかもしれないが、雫石高校の良さをPRしながら頑張ってもらってほしい。
- ・進路達成100%は、きめ細かな指導が行われているという印象である。これはアンケートの結果からもわかる。
- ・中学校と高校の連携が進んでいて、充実しているという印象を受けている。中学校は小学校とも連携を進めていて、雫石高校の卒業生の6割以上が雫石中の出身ということは、町内5つの小学校から来ている生徒たちだということを考えると、何かの会議の後でもいいので、情報交換の場を設けられればいいのかと感じている。
- ・郷土芸能委員会の活動で、演目の指導は3年生から1・2年生へと行っているのか。それとも地域の指導者からによるものが多いのか。指導体制について苦労していることはあれば教えてほしい。中学校では、よしゃれ祭りに参加しているが、その指導を地域の方と高校生から受けているが、これがなくなってしまうと祭りへの参加が難しくなってしまうので。  
→ 部活動指導員や外部コーチから指導を受けている。また、上級生が下級生への指導もしているが、伝統的に続いているものなので、OBの方たちの協力がないと途絶えてしまうと考えている。
- ・雫石町からの支援について、これから高校に入る学生だけでなく、町内の方々に向けても情報の周知をもっとお願いしたい。また、台湾との交流について、有事の際の危機管理について徹底していただきたい。
- ・学校での活動では、生徒が笑顔で活動していて意欲的に取り組んでいると感じられる。郷土芸能委員会は、令和7年度のスタート時は大変苦労したが、年度の最後の発表はみちがえるほどで、成長を感じられた。
- ・いろいろな意見を聞いて参考になった。先生方と町内の皆様の頑張りによって、生徒たちは成長して世の中に出て行っている。この場での話は先生方にも伝わっているので、学校に参考になる意見を機会を捉えてもっと伝えていっていただきたい。

(7) 閉会